

ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」
 「土と人情」に囲まれた。ナナミ
 ちゃんの「私、土の子」奮闘記



03.02暖か
 くなり葉も
 茂る福寿草

1 春の畑仕事始まる

↓03.03長ネギ苗
 を掘り上げるカカ

わが家近くの「ワニ塚の桜」桜開花予想は3月下旬とか、霜の降りる朝も少なくなり、薪ストーブを焚く日も激減した。いよいよ春の畑仕事も動きだし、夏野菜の種をポットに蒔き苗作り、春分頃にはジャガイモの植付が始まります。4月には夏野菜苗の植付畝を作り、絹サヤなどツル豆類の誘引柵などを立てます。



↑掘り上げた苗を選別中
 ←選別した苗を植え終わると、次の苗掘り。
 →トトの掘った畝で苗植え



↑耕し終わった畑の中ほどで、カカは長ネギ苗を掘り上げて作業中。→トトは春の種蒔きや野菜苗植えの準備で、空いている区画を耕す、カカトト手分けして。

↑畝には土の里や化成など肥料を施し、長ネギ苗を畝底に置き、土を少し被せて落ち葉で埋め、土を軽く被せる。落ち葉は腐葉土になり、土は柔らかい。

2 「ナナミちゃんのお宿」は？



薪置き場前のレンギョウを剪定、小さな黄色い花が数輪ほころび始めました。草むしりをして、コデマリの剪定など少しづつ手を入れて、新型コロナの収束を待っています。しばらくするとナナミちゃんのお宿でも色々な桜が咲く、春がめぐって来ます。



目次

1 春の畑仕事始まる	1
2 「ナナミちゃんのお宿」は？	1
3 キノコ増産計画の2	2
4 三月のお味	2

ハイライト

啓蟄・次侯「桃始笑つもちはじめてさく」「笑」を「さく」と読むのは、昔は花が咲くことを「笑う」「笑む」などと言ったため。



よって、桃の花が咲き始める頃という意味に

03.08庭の墨赤色の椿、咲き始める。

なる。桃の原産地は中国の黄河流域で、そこから各地へ伝わる過程で変種が生じた。日本へ伝来した時期は定かでないが、『古事記』や『日本書紀』に見えることから、これらの編纂時より前であるのは間違いがない。古来、魔除けの力が有ると信じられ、記紀でもイザナギノミコトが黄泉の国の軍勢を撃退するのに桃を使用したとある。黄泉の国の出入口黄泉比良坂よみのひらさかにあった桃の木から実をとり、軍勢に投げつけ生還をした。カカトト九州旅行で「黄泉の比良坂」へ立ち寄ったが、よく見かける雑木林？だった。神さま好きのトト・・・

3 キノコ増産計画の2

↓03.06 駒菌プラボ
トルを輪切りにする



←椎茸駒菌500個が入ったプラボトル、県内産に替えて発芽率が改善!!



↓赤丸は駒菌、白丸はドリル穴



トトが低速回転ドリル↑で穴あけ ↑カ力が駒菌を穴に挿し込み金づちで打ち込む

▽表 03.06 駒菌1500個をクヌギとコナラに打ち込む、打ち込んだ原木は31本。



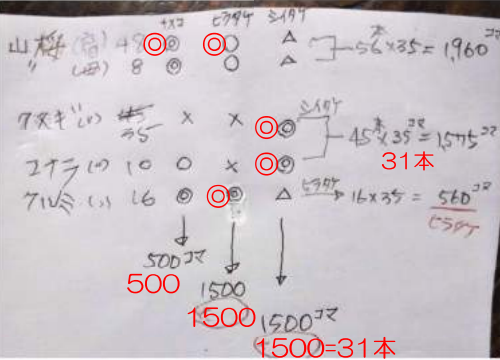
↑菌糸で包まれた椎茸駒菌。←03.06原木に椎茸駒菌の打ち込み作業、トトがドリルで穴あけカ力が駒菌を穴に打ち込む。

3月6日に椎茸駒菌1500個を原木31本に打込む、カ力は仮伏せ置場の椎茸原木を見回り、水遣りなど加湿を怠らない。平茸1500個とナメコ500個の駒菌も購入、3月末頃に打ち込む予定、楽しみだけどちょっと疲れて体が痛い・・・

▽打ち込み終わると原木を仮伏せ置場に運び →稲ワ

ラを敷いた置き場に積み上げる。

▽積み上げた椎茸原木に散水し加湿、5月頃まで菌糸の繁殖を促す。

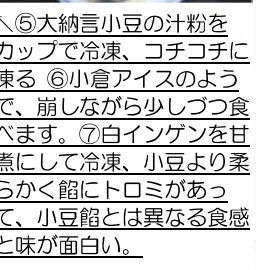
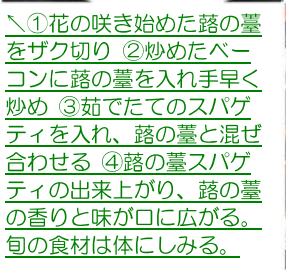


▽キノコ原木の置き場。原木の管理作業は全てカ力が行っている。ありがとう

↑打ち込み終わった椎茸原木は保温シートでおおい、日除けの遮光ネットを被せる。点検をして水遣り加湿



4 三月のお味



風強く寒い日には薪ストーブを焚き、囲炉裏の鉄瓶で沸かしたお湯を注ぎ、渋茶でカ力手作りの甘味をいただく、極楽なり。イヨイヨ春本番になれば種蒔き豆まき忙しく、保存をしてあった豆類も更新の時期、保存豆を豆ご飯や豆菓子にして自家消費。増える新豆の収穫時期に備えます。



↑⑧白インゲンの甘煮をゼリーで固めました。チョッと見はプリンのもので?! ⑨口に含めば水羊羹の味 ←⑩カ力手作りの渋皮煮ので、煮汁ごとゼラチンで固めた「琥珀ゼリー?」ホロ苦い栗の味、しっかり甘味もあってオイシイ。